

2. コースを編集する

Moodle には、資料のアップロードや小テスト実施、フォーラムによるディスカッションなど、学習を促進するためのさまざまな機能があります。Moodle ではこれらの機能をモジュールと呼びます。モジュールは世界の Moodle コミュニティで日々改良・開発されています。教員は自らのコースにこれらモジュールを導入し、対面授業を補完したり、授業時間外学習を促しながらコースを組み立てることができます。ここではその一部を紹介します。

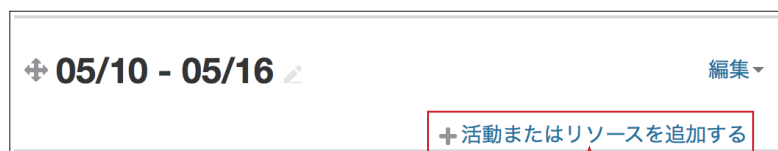
2.1 配布資料・教材のファイルをアップロードする

授業で使用するプリントや資料のファイルをコースに掲載し、学生の予習・復習を促すことができます。

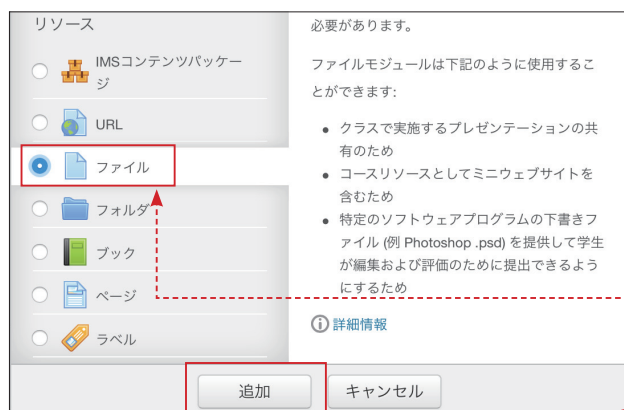
① Moodle にログイン後、編集したいコースの名称を選択し、コース画面に入ります。

②画面右上にある「編集モードの開始」ボタンをクリックします。

編集モードの開始



③資料を掲載したいセクションにある「活動またはリソースを追加する」を選択します。



④コース上に追加するコンテンツのメニューが表示されますので、「ファイル」を選択し、「追加」ボタンを押します。

⑤表示された画面で以下の項目を設定します。


(i) 名称

コース上に表示する名称を入力します。

(ii) 説明

このファイルの説明文です。コース上にも説明文を表示させる場合は「コースページに説明を表示する」にチェックを入れます。

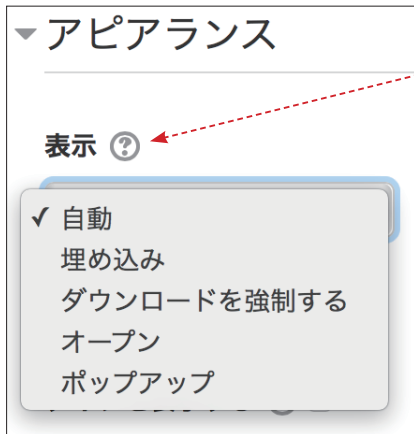
(iii) ファイルを選択する

アップロードしたいファイルをコンピュータ上から画面の枠内にドラッグ&ドロップします。もしくは左上の  ボタンを押して、ダイアログの指示に従ってファイルを選択します。



2. コースを編集する

【注意】 Moodleにアップロードできるファイルサイズの上限は、1ファイルにつき200MBまでです。これを超える場合はファイルを分割する必要があります。



(iv) アピアランスの設定

アップロードしたファイルをどのように表示させるかを選択できます。以下の5種類があります。

- 自動：選択されたファイルタイプを自動的に検出し、適切な方法を設定します。
- 埋め込み：PDFや動画などのファイルがMoodleコースの画面上（ナビゲーションバーの下）に表示されます。（※ブラウザでの表示に対応していないファイルは埋め込むことができません）
- ダウンロードを強制する：ユーザにファイルのダウンロードを強制します。ファイルはユーザのコンピュータに保存されます。
- オープン：ファイルがブラウザウィンドウ全体で表示されます（Moodleのコースに戻るにはブラウザの「戻る」ボタンを押す必要があります）。
- ポップアップ：ファイルが新しいブラウザウィンドウに表示されます。



⑥以上の設定が終わったら、画面最下部の「保存してコースに戻る」もしくは「保存して表示する」ボタンを押して下さい。

コース上のセクションに、コンピュータからファイルを直接ドラッグ&ドロップしてファイルを追加することもできます。その場合、アピアランスは「自動」に設定されます。



【2. コースを編集する】共通

「活動またはリソースを追加する」で作成したコンテンツの設定や内容を変更する場合は、追加したコンテンツ名の左にある「編集」から、「設定を編集する」を選んで下さい。また、コンテンツを学生が見えないようにする場合は「非表示」を、ファイルを削除する場合は「削除」を選択して下さい。以下で説明するページ作成や小テストについても同様です。